

# よしかわ通信

E-mail kyudaiji@aqua.ocn.ne.jp

りん どう

平成17年 新春号

## 凜道

新春の候、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。平素はひとかたならぬ御指導を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、台風や地震など自然災害の多い年でありました。新潟県を始め、スマトラ島沖でも最近例にないほど大きな地震があり、被害に遭われた方々には、謹んでお見舞い申し上げます。私も微力ながら、新潟県まで向かい、炊出しなどのボランティアに協力してまいりました。

災害などはあまり多くない高萩市ですが、本年も、新しい協同病院建設・通信制高校の設立、ゴミ処理施設の検討と様々な問題を抱えております。社会的には、教育につきましても、検討すべき課題が出てまいりました。

本年も、私なりに最善の努力を尽くしてまいりたいと思っております。皆様方の御理解と今後の御協力および、御意見、御指導、御要望をよろしくお願い申し上げます。

## 新潟県中越地震被災地救援ボランティアに参加

- 日 時 平成16年11月7日PM10時～11日AM0時
- 活動団体 茨城県曹洞宗青年会 会員13名
- 活動地域 小出町、川口町、小千谷市、長岡市

### 活動内容

- |      |   |
|------|---|
| 8日   | 小出町、川口町、小千谷市視察                          |
| 長岡市  | 栖吉保育園にて夕食炊き出し 250食 提供                   |
| 9日   | 小千谷市 東小千谷中学校にて早朝 お茶・リンゴ 200名分 提供        |
| 長岡市  | 柿小学校体育館清掃 昼食配膳(約150名分)                  |
| 10日  | 小千谷市 東小千谷中学校にてお茶 200名分 提供               |
| 長岡市  | 高齢センターにて夕食炊き出し 200食 提供                  |
| 小千谷市 | 東小千谷中学校にて早朝 お茶 200名分 提供<br>救援物資仕分け 施設解体 |



提供するお餅を配膳



被災者テントにお茶を配膳

### 所感

震災翌日に、救援活動ができないかと、茨城県曹洞宗青年会に要請しました。役員の中で調査、検討を進められ、情報収集しながら、青年会でも11月1日～3日に先発隊が出ることになり、その結果、茨城県青年会としては、11月8日～10日の日程で活動することになりました。会員に参加を募り、私は、その期間に、市制施行50周年記念式典と議会だより委員会の行政視察がありました。今、この時期に、困っている被災者の方に少しでも力になりたいという気持ちから、式典と行政視察は欠席させていただき、ボランティア活動に参加しました。

最初は、倒壊した家屋の片付け等を行う予定でしたが、余震が続く中、ボランティアセンターの指導により、炊き出しを行うことになりました。

今回の私たちの活動は、ほんの3日間、微々たるものではありますが、多くの方々からの少しづつの協力が集まって、復帰していくものであり、何らかの力になったと確信いたしました。災害はいつ起こるかだれにも予測できません。高萩市でも災害に対する備えを改めて見直す必要があるのではないかと思われます。今回の高萩市の対応としては、建築士2名と消防4名が救援に派遣されただけでしたが、現地に行くと全国からたくさんの市職員や県職員が活動していました。もし、自分の町がそうなった時にはどうでしょう。やはり、助けてほしいと思うものだと思います。それならば、他で困っているときには義援金・物資だけでなく、もっと積極的に協力すべきでないのでしょうか。

# 平成16年12月議会一般質問

## ウィザス高等学校建設について

### 1. 入札業者があっせんについて

9月議会の市長の答弁では、学校建設における入札について、「ふたを開けてみたら地元業者が入っていない。小泉総理大臣に認定書を返します」ということで、なかば強制的のような対応じゃないかなと思うような感じですが、地元の業者を入れるということは、当然であると思います。しかし、なぜ、日興建設だけをお願いしたのでしょうか？他の業者ではだめだったのでしょうか？何かそうしなければならない理由があったのか、質問しました。

#### 市長の答弁

高萩市にはいろいろな業者さんがありますが、校舎建設は3億円もの工事ですので、日興建設が適していると考えて推薦しました。

### 2. 業者決定に対する口添えについて

市長は、9月議会の私の二回目の質問に対する答弁の中で、「私は一切かかわりを持っておりません」と言いつながら、市長自ら、わざわざ認定書を返させてまで入れたその地元業者が、随意契約だったのではないかということは、どういうことなのでしょうか？随意契約が行われている業者なら、最初から入札の指名に入っているければおかしいでしょう！最初の指名には入ってもいないのに、後から入れてもらった業者が・・・なんて、常識的にあり得ないことだと思うのですが、それとも、やはりなにかしらの「天の声」があったからなのかどうか、質問しました。

#### 市長の答弁

推薦業者に無理やり追加させたというわけではありません。指名通知を発送していない段階で日興建設をお願いしました。

### 3. 時間差入札について

9月議会でも市長は、答弁していただけませんでしたが、時間差で入札が行われたということです。普通、入札というのは企業が一同に集まって、みんなの前で公平に開くのが入札でしょう。時間を置いて、ということは、手直しさせる時間をとったとしか考えられません。ここでもまた、「天の声」があったんじゃないかと思われます。



完成間近のウィザス高等学校

## 協同病院建設について

### 1. 入札業者があっせんについて

12月7日、起工式は無事終わりましたが、協同病院建設の業者選定について、9月の文教厚生委員会においても、寺岡議員の一般質問に対しても、議長と二人で、また市長一人で、「地元業者の活用について、強行にお願いしてあります！」と答弁をされておりましたが、その推薦する業者とは、請け負った東急・鈴縫JVのことなのでしょうか？厚生連に対して、どちらか大手業者を宣しくとあっせんしたことはあるのでしょうか？

10月14日の全員協議会の答弁で、市長は、「10月20日の入札、11月初旬に起工式」と言わされておりましたが、結局入札は10月28日、起工式は先日12月7日でした。ご存知とは思いますが、毎月12日前後に行われるという厚生連の常任理事会で、通常入札は行われるようですが、10月20日の入札日は変だと思います。最初の話はどこから聞いたお話をされたのでしょうか？と質問しました。

#### 市長の答弁

地元業者の育成、地元経済の活性化のために日興建設を指名に入れさせてほしいとお願いしました。入札の日については関わっていたら間違うことはないので、関わっていないという証だと理解していただきたい。

## 2. 業者の選定について

厚生連の予備指名の段階で、日興建設を指名に加えることを頼んだそうですが事実なんでしょうか？先ほどと同じ、なぜ日興建設なのですか？そこまでこだわるには何か訳があるのかと思ってしまい質問しました。地元地元とは言っても、他の業者をさしおいて、日興建設個人をあっせんしたと解釈できます！

ウィザス高等学校については市が進めていることですから、ある程度、考えられるとしても、協同病院建設については、もともと市長は反対していました。それがいざ建設となると、そんなところにはばかり熱心になってしまふ、というのはいかがなものかと思います。

しかも、日興建設は入札で敗れ、東急・鈴縫JVが請け負った後に、日興建設・十王町の吉田組ほかその他の企業を下請けに使うように依頼されましたが、事実でしょうか？またそれは、どちらへ依頼されたのでしょうか？日興建設は入札に敗れて、その業者を再度仕事上で下請けに使うようにとの要請は問題ありませんか？また、十王町の吉田組をあっせんした理由は何なんでしょうか？

### 市長の答弁

予備指名の前に、協同病院厚生連を訪ね、業者を提示されたのを見ましたら、日興建設が入っていました。そこで、予備指名にいれていただくよう頼みました。しかし、入札が行われましたら、東急、鈴縫JVがとられたということです。日興建設は、県で二年に一度行われている経営事項の審査をやっているのを見ると907点で、高萩には他に900点以上のところはないので、日興建設をお願いしました。

下請けについては、私は来たものについてはあっせんしようと思っておりましたが、高萩の業者は来ませんでした。十王町の吉田組だけが来て、赤字を出してもいいから、実績でやらせてほしいと申し入れがありましたので、お願いしました。しかし、あくまでも元請け業者と下請け業者の単価・価格の問題なので、その決定は当事者間にまかせるしか、ありません。

確かに私は病院建設を反対しましたが、就任以来いろいろと議論を重ねる中で、皆さんのご理解を得てあそこに病院を作ることになったのですから、熱は入ります。



くわ入れをする厚生連 廣木会長

### 吉川の考察

あっせんという言葉が市長の口から出て、全く驚くばかりでした。

私は根も葉もないことを言っているのではありません。確かな情報を元に質問させていただいております。この答弁のあとすぐ、慌てて市長は「あっせん」という発言を「推薦」に訂正する「発言訂正申し出書」を出し、賛成多数で可決されました。これで議事録上では、「あっせん」という表現はなくなったことになります。しかし、その後、私はこの書類をもって茨城県総務部市町村課と協議したところ、「言葉が訂正されても、市長の行為が特定業者に肩入れをすれば同じです。内容についての「是非」は、行政の関与するところでないので、警察、司法の管轄になります」と言うことでした。高萩市である程度大きい会社となると、日興建設になるのでしょうが、900点以上は、日興建設だけでも、800点台の業者は他に有ります。厚生連の業者名簿には、市外で800点台のところもあり、いくつかの他の業者が協力すれば、できることはないはずだという意見があります。業者が選定されて、その下請けのことまで、市長が声を掛けるのもおかしな話ではないでしょうか？

ウィザス高等学校にしても、協同病院にても、あっせんばかりになってしまいました。もうあっせんはいいです。ゴミ処理建設でも特定の企業とやってるみたいですが、それももういいです。今、高萩市は、以上の問題だけでなく、土地開発公社、住宅公社など財政問題も山積されているわけですから、しっかり財政の建て直しに努力していただくよう、意見しました。

# 引きこもり対策について

水戸市と土浦市で連続して発生した「両親殺害事件」の背景には、青少年の引きこもり問題があると言われております。このような痛ましい事件が、同じ茨城県でしかも二件続けて起こったということは、他人事とは思えない、非常にショッキングなことでありました。調べてみたところ、2004年9月現在、引きこもりに該当する人は、全国で120万人と推計され、そのきっかけとしては、不登校が最も多いそうです。

## 高萩市での現状とその対策について

高萩で引きこもりに該当する人がいるのか？いるとすればどれくらいなのか？また、そのきっかけとなる、不登校の生徒数および、現在、高萩市で行われている、または、これから予定されている対策について質問しました。

### 高萩市の現状（教育長答弁）

#### 引きこもりの相談件数

	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度(11月現在)
相談件数	2	6	6	4

#### 不登校の数（小中学校）平成16年10月31日現在

	30日以上不登校	50日以上不登校	引きこもり傾向者	引きこもり者
人 数	31名	25名	9名	2名

## 対策

引きこもり傾向の者に対して・・・担任、スクールカウンセラー、心の教室相談員、スクールサポーター等との相談が行われている。回復した生徒もいる。

引きこもりの者に対して・・・家庭訪問しても、本人には会えない。引き続き保護者と連携をはかる。  
適応指導教室等の相談機関や福祉関係、医療関係ともさらに連携を深める予定。

予防対策・・・・・・・小さいときからの社会性の育成をおこない、人とのかかわりがもてるようるために、幼稚園、小中学校において、異学年交流を行っている。国立教育対策研究所の研究によって、その予防効果が確かめられている。

## 萩のひろば

高萩で一箇所だけある、不登校の生徒の居場所、「萩のひろば」を先日訪問し、お話を伺いました。図書館の一室を利用した小さな部屋ですが、訪れる子供にとっては、安らぎの場所なのかなという印象でした。学校でもない、家でもない空間で、自分の話を聞いてくれる指導員の方がいて下さる。こういう場所をもっと大切にしなくてはならないと感じました。

## 吉川の考察

引きこもっている人すべてが犯罪をおこすわけでもなく、引きこもりそのものが悪いわけではありません。引きこもっている期間を経ることによつて、その人を成長させる場合もあります。大切なのは、社会とかかわるように、回復できるかどうかなのです。

全国でも様々な団体が、引きこもり問題を解決するために活動しておりますが、現状としては、受け皿となる中間施設、および訪問サポート士という引きこもりに対する支援をする資格ともつ人材の圧倒的不足と公的機関の対応力不足、自治体の支援体制不全など、いろいろな問題があるようです。自治体としてできることと言えば、人的、金銭的支援、十分な対応です。

今度出来るウィザス高等学校は、不登校生を支援する学校で、高萩市は、「市の目指す教育プログラム」を実現させるために、ウィザス高等学校の設立が最も望ましいということで誘致したそうですから、高萩市では、市として不登校生・退学生の再生教育に貢献するということでしょう。高萩市もいろいろお金がかかる時期ではありますが、こういった面に対する経費については削減することなく、充実させていただくようお願いしました。